

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 小西 亜侑
所属 (School) 生命環境科学域
学年 (Grade) 1 回生

留学先 (Name of overseas institution)
マレーシア工科大学
留学期間 (study abroad period)
2018/2/18~3/5

記入日 (Date) 2018/3/18

留学レポート Study Abroad Report

私は英会話力を高めることと異文化に触れることを目的としてこのプログラムに参加しました。このプログラムの利点は、バディシステムです。一人ずつバディが付き、毎日放課後を一緒に過ごすことで英語を話す機会がぐんと増えました。また、会話する中でマレーシア・大学・イスラム教・バディ自身のことをたくさん教えてもらったり質問したりして、様々なことを知りました。私はイスラム文化にとっても興味があったため、質問してはメモを取っていました。その時に、バディが話すことの2~3割しか聞き取れなくて話を理解できず、もやもやすることも多々ありました。単語の意味を聞き直す時もありましたが、語彙力不足で分からない時が多かったです。ちなみに、バディがせっかく教えてくれたので、そんなときでも「うんうん」と頷いて分かったふりをしていました(笑)。毎日、放課後にバディは車でいろんなところに連れて行ってきて、夕食を共にしました。ナイトマーケット、ショッピングセンター、あらゆる食堂、大学内の丘やモスク、どれもとても新鮮でした。私のお気に入りの場所は大学内にある水色と白色の美しいモスクで、中を見学させてもらいましたがとても落ち着いた場所でした。そこにはお祈りしている人だけでなく、お昼寝や勉強している人もいました。また、私はバディの車の中でぼんやりと、時にはにぎやかに話をしながらジョホールバルの街並みを眺めるのが大好きでした。



↑ UTM 内のモスク

学校での授業は、オーラルコミュニケーション・ディスカッション・プレゼンテーションをしたり、マレーシアの経済、マレー語を学び、英語を用いた簡単なゲームなどもしました。どの授業も生徒が自由に発言する場面が多く、皆積極的に授業に参加していました。そしてどの先生も興味深い授業をしてくださり、楽しい授業が多かったです。授業終わりには先生とお話することも多く、授業で気になったことを深く知るために質問したりしました。私の拙い英語での質問を、先生方は理解しようとし、快く質問に答えてくださりました。一つ聞けば十教えてくださるという場面も多く、とても有難く思い、有意義な時間を過ごすことができました。また異文化交流として、マレーシアのバディがマレーシアの文化を、日本のバディが日本の文化を互いに紹介して実際に体験する時間が設けられました。貴重な体験ができ、またとても楽しい時間を過ごしました。

私は初めての海外ということもあり、きちんと英語でコミュニケーションを取れるだろうかと少し不安でした。でもバディ達と実際に会って話してみたら、そんな不安は消えました。彼らは皆とても親切でフレンドリーで、こちらが伝えたいことを理解しようとしてくれたからです。個人的に、スピーキングよりもリスニングに苦労しました。また、語彙力(単語力)は重要だと実感しました。勉強不足を感じることも多かったですが、コミュニケーションを取ることが好きで楽しかったです。自分の言いたいことが伝わるのだと分かり、嬉しかったです。マレーシアは親日国で、マレー系の人たちはみんな親切でフレンドリーだと感じました。時には日本語で挨拶してくださる方もいて、そのたびに私は嬉しくなりました。そして滞在していく中で私はマレーシアが大好きになりました。バディ達はかけがえのない友達になり、今でもインスタグラムでつながったりラインで連絡を取っています。

このプログラムのおかげで、英語を話すことのハードルが下がり、英語を勉強するモチベーションが高まりました。参加して本当に良かったと思います。おすすめしたいプログラムです。

